

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募
草の根活動支援事業 地域ブロック 採択事業

事業名 主題	北海道未来社会システム創造事業	
事業名 副題	休眠預金活用による道内地域課題の効果的・効率的な解決に向けて	
地域ブロック	北海道ブロック【事業対象地域：北海道】	
団体名	一般社団法人 北海道総合研究調査会	
代表者名	理事長	五十嵐智嘉子
解決すべき社会課題	<p>1) 子ども及び若者の支援に係る活動; ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援; ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援</p> <p>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動; ④ 働くことが困難な人への支援; ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援</p> <p>3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動; ⑥ 地域の働く場づくりの支援</p>	
事業の概要	<p>・社会課題：広域分散型の北海道は、各種サービスに対するニーズの量が薄く、人材不足である。子どもの貧困問題対応、教育・スポーツ・文化等学びの機会が少ない、特定の支援が新たな排除を引き起こす、地域に居場所と役割がない等の課題がある。</p> <p>・既存の取組状況：生活困窮者支援や生活保護、子育て支援など、行政の制度・取組があるが、対象や事業内容が限定されニーズ把握も不十分である。地域のNPO等が子ども食堂や教育支援を行う事例もあるが、事業採算性が厳しく全道的な展開ではない。</p> <p>・本事業の意義：実行団体の取組・連携を促進し、「支援の受け手が支援する側になる循環の仕組み」「都市部から地方部への人材の循環の仕組み」を構築する。</p>	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	93,466,225
	PO関連経費	23,952,886
	評価関連経費	9,128,813
	合計	126,547,924

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道ならではの課題の把握と助成事業の組み立てになっている点は評価できる。 ・地域性を考慮すると広域部門と地域部門を設定するのは妥当と考えられる。 ・アウトカム像について、期待される成果像を具体的に設定することが求められる。 ・課題の原因分析と解決策の繋がりをより具体化していただきたい。課題を再整理して、北海道地域に応じた現実的な課題設定が期待される。
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。